

## 普及活動情勢報告（平成30年10月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### 酒米「吟の夢」の収穫はいつがえい？ ～新規生産者を対象に栽培講習会を開催しました～



熟練者が収穫のポイントを説明

9月20日に「土佐市吟の夢栽培技術研究会」の新規生産者4名を対象に栽培講習会を開催しました。

農業改良普及課は、現地で「吟の夢」の収穫期の判別方法や収穫後の乾燥工程などの注意点について説明しました。

新規栽培者の方々は直接、品質に関わることから、全員が参加し、「穂がどれくらい色づいたら収穫できるか、乾燥の際の温度は低めがいいか？」など非常に興味を持って、熟練栽培者の方に積極的に質問を投げかけていました。

農業改良普及課では、今後も新規栽培者の栽培技術向上を目的に、10月には兵庫県での視察研修を予定するなど引き続き支援していきます。

### めざせショウガ・ナシ博士！ ～いの町管内小学校で出前授業を開催しました～



栽培の苦勞を語るショウガ生産者に質問殺到！

10月2日から、小学校2～3年生を対象に、いの町主催の出前授業が5校（ショウガ2校計96人、ナシ3校計46人）で開催されました。農業改良普及課は、生産者・JAと協力し、いの町で栽培されているショウガとナシの特徴や生産状況、重量（ショウガ）や糖度（ナシ）の測定などを説明しました。

ともに身近な地域で生産されている野菜・果樹ですが、小学生らは、日常ではあまり意識していないこともあり、香りや食味に関心を示し、興味深く話を聞き入っていました。

農業改良普及課は、今後も出前授業の取組みにより、農業への関心を高め、次世代の農業者の育成を図っていきます。

### POPの極意を知って、売上げUP！ ～POP研修会を開催しました～



教わった内容で実際にPOPを作成！

10月1日に農業改良普及課は、買いたくなる商品のためのPOP作りについて、直販所店長や生産者7名を対象に、研修会を開催しました。講師から普段買い物をするときどんなPOPがあったら買いたくなるか、商品の良さを最大限に伝えられるPOPはどういうものかなどの説明を受け、意見を出し合いながら売れるPOPについて話し合いました。

講義後、講師の先生からアドバイスをもらいながら、顔写真付きのPOP作成することができました。

農業改良普及課では、次回はPOPを活かした直販所の視察を行い、農産物の消費拡大を支援していきます。

生産者GAPの定着にむけて  
～生姜部会（JAとさし、JAコスモス）点検活動への取り組み～



GAP生産者点検シートの記入を説明する普及指導員(左：JAとさし、右：JAコスモス)

管内のJA生姜部会（JAとさし生姜部会、JAコスモスまるい生姜部会）では生産者GAPへの取り組みを進めています。

10月12日に開催されたJAとさし生姜部会総会では、農業改良普及課からGAPの説明を行い、平成31園芸年度から高知県版GAPに取り組むことが決定されました。

10月15日に開催されたJAコスモスまるい生姜部会総会では、農業改良普及課の解説を聞きながら部会員（43人）がシートによる点検を行いました。

農業改良普及課では今後も各生姜部会での生産者GAPの円滑な定着を推進していきます。